

平成22年度 市の施設等における温室効果ガス排出量

平成22年度の青梅市の施設及び車両から発生する温室効果ガス排出量は、基準年度（平成20年度）と比較して4.9%増加した。

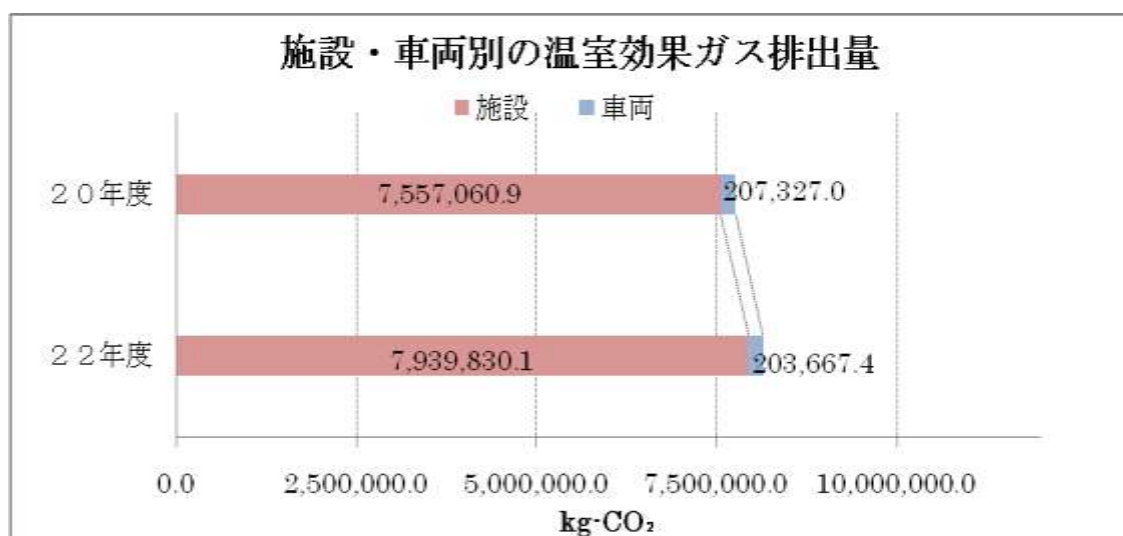
主な要因は、7月に新庁舎へ業務機能が移転された一方で、教育センターが3月末まで使用されるという、新旧庁舎運用期間の一部が重複したこと等により、施設全体の電気使用量が前年比で8.8%増加したためである。

1 温室効果ガス総排出量

(単位: kg-CO₂)

	種類	CO ₂	CH ₄	N ₂ O	HFC	合計
		二酸化炭素	メタン	一酸化二窒素	ハイドロフルオロカーボン	
施設	20年度	7,554,622.5	1,435.5	1,002.9	—	7,557,060.9
	22年度	7,937,278.8	1,519.7	1,031.6	—	7,939,830.1
	増減率	5.1%	5.9%	2.9%	—	5.1%
車両	20年度	198,058.5	715.5	5,803.5	2,749.5	207,327.0
	22年度	194,949.9	944.7	5,237.8	2,535.0	203,667.4
	増減率	-1.6%	32.0%	-9.7%	-7.8%	-1.8%
合計	20年度	7,752,681.0	2,151.0	6,806.4	2,749.5	7,764,387.9
	22年度	8,132,228.7	2,464.6	6,269.4	2,535.0	8,143,497.5
	増減率	4.9%	14.6%	-7.9%	-7.8%	4.9%

2 施設・車両別の温室効果ガス排出量



3 発生源別の温室効果ガス排出量

(単位: kg-CO₂)

発生源	20年度 (基準年度)	22年度	対基準年度 増減率
電気	5,095,243.0	5,542,916.2	8.8%
A重油	1,851,490.2	1,734,277.0	-6.3%
灯油	326,245.4	329,810.4	1.1%
都市ガス	240,429.2	278,199.8	15.7%
プロパンガス	37,249.2	31,604.1	-15.2%
その他燃料	6,403.9	23,022.6	259.5%
車両	207,327.0	203,667.4	-1.8%
合計	7,764,387.9	8,143,497.5	4.9%

※その他燃料=施設におけるガソリン・軽油使用

